

タイトル：調剤薬局における健康食品・サプリメント販売に対する薬剤師の関与について
～アンケート結果からの考察～

発表形態：ポスター発表

発表者：堀内友美恵

共同発表者：吉田恵美、柳田和男、藤田知子、佐竹正人、清水一郎

目的：健康食品、サプリメント市場は、年々増加しており、また、疾患を持つ薬物治療中の方の約 8 割が健康食品・サプリメント等を利用されている現状がある。健康食品・サプリメントの販売金額は、通信販売によるものがもっとも大きく、その次に薬局・薬店と見られている背景から、薬局薬剤師が、疾患を持っている患者さんに対し、健康食品・サプリメントの適正使用についてのアドバイスや、最新情報の提供が大変重要であると思われる。特に、薬物間の相互作用、疾病に対する影響など考慮すべき点が多く、薬剤師が日ごろから、健康食品・サプリメントに関する情報収集、知識習得が必要とされる状況から、健康食品・サプリメント販売における薬剤師の関与について考察する。

内容：対象は、ユタカ調剤薬局（単独、併設）23 店舗の薬剤師に対し、服薬指導時に健康食品・サプリメントに関する情報提供の程度等、アンケートをとり、その回答を分析した。また、患者さんに対して健康食品・サプリメントの情報入手源や使用状況についてもアンケートにより状況調査した。さらに、過去の薬歴から薬剤師が、どのくらい服薬指導時に健康食品・サプリメントに関して会話もしくはアドバイスしたかを調査した。

結果・考察：ユタカ調剤薬局薬剤師約 80 名、患者さん約 880 名のアンケートを収集した。その結果、健康食品服用について服薬指導時に確認またはアドバイスしている店舗ほど健康食品の利用率が高い傾向にあり、また健康食品に関する相談相手として薬剤師を選んでいる患者数が多かった。薬剤師が必要を感じている情報として、薬物間の相互作用に関する情報の回答数が最も多く、また、各職種別に見た役割についてもコメントから考察し、処方薬の最大効果を引き出し、疾病治療を遂行させることが薬剤師としての役割であることを感じていることがわかった。健康食品・サプリメントの引用について、処方医に対しては、患者側からも、薬剤師側からもなかなか情報共有ができない現状から、それを補うために、お薬手帳を用いる手段も有効との見解もみられた。